

会場：名古屋市民ギャラリー矢田 [第4・5・6展示室]

2018年6月20日[水] ——— 7月1日[日]

開館時間：10:00-19:00 [日曜 17:00 まで | 月曜休館]

主催：名古屋市民ギャラリー矢田 デザイン：伊藤仁美

Venue: Nagoya citizens gallery Yada [Exhibition room NO.4/5/6]

Opening hours: 10:00-19:00 [Sunday -17:00] Closed on Monday 2018.6.20 [wed] ——— 7.1 [sun]

Sponsorship: Nagoya citizens gallery Yada Designed: Masami Ito

spot  
stop  
step

*Nagoya citizens gallery Yada  
partnership <Next> #6*

白井渚

竹ヶ原美保子

伊藤弘彦

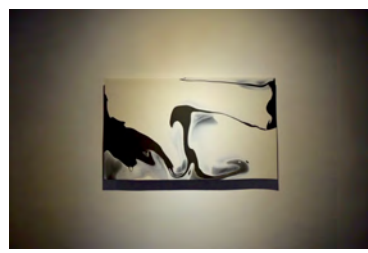
田仲哲也

ギャラリー矢田パートナーシップ <Next> #6 では、現在瀬戸市で活動している若手作家4名を紹介します。瀬戸市は焼き物の街として古くから広く名の知れた地域です。生家が焼き物を生業とし、その地で生まれその地で生きて行くという人も少なくはありません。しかし、今回展示する4名は全員瀬戸出身ではありません。各々が生まれ親しんだ街から飛び出し、瀬戸という場所 (spot) に引き寄せられそこで一度立ち止まり (stop) また新たな世界へ旅立とうとしている (step)。土、ガラス、二つの素材に向き合う4人の作家。古くから物作りで栄えたこの街で何を感じ何を考え自分の中にどんな変化が起こり、次の段階へ進んで行くのか。その過程から物作りの面白さを感じて頂ければ幸いです。

2018年6月20日[水]—— 7月1日[日]

白井渚

### Nagisa Shirai

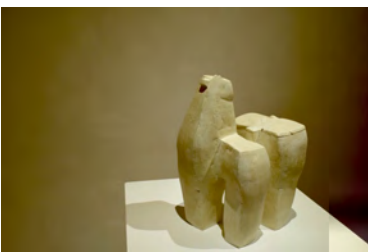


1991年 栃木県生まれ  
2017年 愛知県立窯業高校 専攻科 修了  
2017年～ 瀬戸市新世紀工芸館 陶芸コース研修生

磁器土をクリーム状に調整した、泥しょう土というものを使って制作をしています。土の流動の美しさを、白と黒で表現しています。

竹ヶ原美保子

### Mihoko Takegahara



1992年 青森県生まれ  
2015年 岩手大学教育学部芸術文化課程 修了  
2017年 愛知県立窯業高校 専攻科 修了  
2017年～ 瀬戸市新世紀工芸館 陶芸コース研修生

自分が作り出すものをみることで、自分を客観視してみる。ん～、まだまだぶれるところが多い。

伊藤弘彦

### Hirohiko Itou

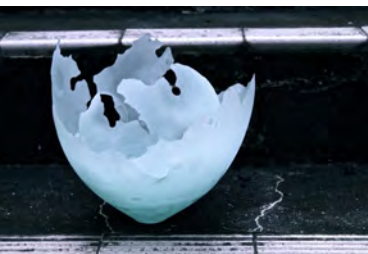


1990年 福岡県生まれ  
2015年 愛知教育大学 現代学芸課程造形文化コース 卒業  
2015年～ 2017年 瀬戸市新世紀工芸館 ガラス工芸担当臨時職員  
現在 同上 ガラス工芸担当嘱託職員

ガラスとは何なのか。どのような素材で、どのような特徴を持っているのか。それらの情報をガラスから受け取り、取捨選択してガラスに返す。自分の中のガラスを固めていく。

田仲哲也

### Tetsuya Tanaka



1994年 大阪生まれ  
2017年 大阪芸術大学工芸学科ガラスコース 卒業  
2017年～ 瀬戸市新世紀工芸館 ガラスコース研修生

もし、ガラス自体になりたい「姿」があるのならそこに導くのが作者の役目ではないか。

## Work description Tour

◆作品解説ツアー  
6月23日(土)  
15:00~16:00

作家が順にリレー形式で作品解説をしながら各展示室を巡っていきます。

名古屋市民ギャラリー矢田  
■名古屋市中区大幸南一丁目1番10号  
カルポート東 3F  
■TEL 052-719-0430  
■FAX 052-719-0440  
※公共交通機関をご利用ください。  
【交通アクセス】  
・地下鉄名城線「ナゴヤドーム前矢田」下車  
1番出口南へ徒歩5分  
・ゆとりーとライン「ナゴヤドーム前矢田」下車  
南へ徒歩3分  
・市バス「大幸」下車 徒歩5分  
(名駅15号系統、東巡回系統)

